

山形県の古木・名木 No.50

釜ノ越ザクラ (かまのこしざくら)

西置賜郡白鷹町大字高玉3436 釜ノ越公園内

胸高周囲約6m、樹高約20mのエドヒガンで、昭和61年6月17日、町指定天然記念物に指定されている。

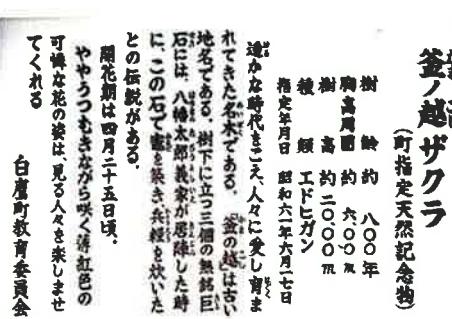
遙かな時代を越え、人々に愛し育まれてきた名木で、ややうつむきながら咲く薄紅色の可憐な花のすがたは、見る人を楽しませてくれる。

開花期は4月25日頃。

「釜の越」は、古い地名である。樹下に立つ三個の無名巨石には、八幡太郎義家が居陣した時に、この石で竈を築き兵糧を炊いたとの伝説がある。

〔山形県森林協会〕

(案内略図)



【森林やまがた74号(2003年5月)記載】